

# かんと 漢人あきこの 市議会レポート

2013.5.1 発行

最終号

NO.134

●連絡先 市民自治こがねい 小金井市本町2-19-36 Tel 042-316-1619



市議会議員の任期が4月4日で終わりました。市民の力で小金井市を変えたい！人権が尊重され、自治が息づくまちにしたい！と、市民と市政をつなぐ議員として16年間活動してきました。いま、その思いは大きく広がり、私にとってもいっそう強いものとなっています。

**ありがとうございました。**

**そして、これからも よろしくお祈いします！**

報告 第1回定例会 1/30～3/7

## 男女平等の ポジティブ・アクションを

漢人の一般質問

世界の男女平等ランキング、日本は101位！

(2012.10.24 世界経済フォーラム発表 対象135カ国)

国では「あらゆる分野の指導的地位の女性を2020年までに30%」、小金井市では「審議会などの女性を2015年までに50%」をめざしています。

市の事業を民間と契約する「公共契約」はポジティブ・アクションのチャンスです。総合評価入札制度による「男女共同参画へのとりくみ」の強化や、9月に制定予定の公契約条例への明確な位置づけを求め、市長から男女平等に積極的に取り組むとの答弁がありました。

### ここに注目

▶“男女平等”後退?!の組織改正 廃案に! 「男女共同参画室」を企画財政部から市民部「市民協働・男女共同参画係」に移す条例と補正予算が提出されましたが、市民から反対の陳情も提出され、条例は廃案に。「男女平等担当は全庁的調整を担う企画部門に置くべき」と、市民が求め実現してきたものなのに、市民にも関係団体にも全く相談も説明もない突然の乱暴な提案でした。そんな“市民協働”なんて信用できません!

▶アスベスト飛散防止条例 (議員提案) 紆余曲折の2年越しの審議を経て、修正案が再提案され全会一致で可決! 賛成討論をしました。➡

漢人のプロフィール ■1960年生/緑町在住 ■1997年3月初当選～2013年4月4日小金井市議会議員 ■市民自治こがねい運営委員/2012.7月「緑の党 GreensJapan」結成に参加、運営委員長に。2013.7月参院選での議席獲得にむけて奮闘中。



### ■アスベスト飛散防止条例

賛成討論 (要旨)

アスベストは中皮種や肺ガンなどの原因になることが1960年代から指摘されてきたにもかかわらず、法規制が遅れ、がん死者が年間3000人など多くの健康被害を引き起こしています。さらに輸入アスベスト1000万トンの8～9割が建材として使われた建物の解体のピークは2020年頃です。

昨年秋、大阪の府立高校で、業者が最も毒性の強いアスベストに気付かず、むき出しの状態での補修工事が行われました。飛散したアスベストの塊が校舎内の複数の場所で見つかり、空気測定でも検出。工事中も授業は通常通り行われていました。この生徒たちは、これから何十年もの間、発病のリスクと深刻なストレスにさらされるのです。

解体時の粉塵による「アスベスト被害の第2波」を防ぐために本条例はとても大きな意味を持ちます。

議会では、「中皮腫・じん肺・アスベストセンター」事務局長の永倉冬史さんによる公開研修会を行い、条例制定の重要性を学びました。

アスベスト教育、第三者機関による濃度測定の客観性の確保、立入検査への市民やNPOの協力など、適切・着実な執行を求めます。

3.11大震災が発生し深刻さは増大しています。アスベストは30～40年後に健康被害が出る「静かな時限爆弾」とも言われます。子どもたちがそんな恐ろしいリスクを抱え込むことがないように、条例の意欲的な執行と、他の自治体への波及効果や国や都の法規制の見直し強化への影響力を期待します。